

第 38 回クラシックを楽しむ会

2016 年 11 月 20 日（日）18:00～（1 時間 47 分、休憩除く）

タイトル：**歌劇「真珠採り」(ビゼー)**

会場等：マリブラン劇場（ヴェネツィア）

2004 年 4 月

楽団等：フェニーチェ劇場管弦楽団、同合唱団

指揮：マルチェッロ・ヴィオッティ

演出：ピエール・ルイージ・ピッツィ

出演：アニック・マシス（レイラ）

中島康晴（ナディール）

ルカ・グラッシ（ズルガ）

ルイージ・デ・ドナート（ヌラバッド）他

バレエ：レティツィア・ジュリアーニ他



本公演台本の表紙(全 171page)

ものがたり

親友のナディールとズルガはかつての恋敵。再会した二人は友情を誓い合う。そこに高僧がベールで顔を隠した尼僧を連れてくる。ズルガは尼僧に生涯友や恋人を持たずベールもとらずに人々のために祈ることを誓わす。ナディールは尼僧がかつての恋人レイラと知って恋が再燃。高僧たちに逢引きが見つかりナディールとレイラが処刑されることになるのだが・・・

聴きどころ

第 1 幕のナディールとズルガの二重唱「**聖なる神殿の奥深く**」はテノールとバリトンの名曲として名高い。同じく第 1 幕ナディールがレイラに思いを寄せて歌う「**耳に残るは君の歌声**」はテノールの名曲、その旋律はアルフレッド・ハウゼ楽団の「真珠採りのタンゴ」で世界的に流行した。

マリブラン劇場について

この劇場がマルコ・ポーロ一族の家の跡地に建てられた当時はヨーロッパで最も美しい劇場といわれた。18 世紀初めこの劇場で高名な**アレッシンドロ・スカルラッティ**と修行中の若き**ヘンデル**が出会い、ヘンデルはこの劇場で最初の傑作歌劇「**アグリッピナ**」を初演。その後この劇場で「**夢遊病の女**」を歌って大成功を収めた歌姫**マリア・マリブラン**を劇場名称にした。なお、有名なフェニーチェ（不死鳥）劇場は 1996 年に焼失し、再建したがオペラ上演の再開は本公演の年の 11 月である。



歴史とドラマに満ちたマリブラン劇場

第 39 回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル：**バレエ「くるみ割り人形」(チャイコフスキー)**

12 月 18 日(日) 17 時 30 分開場、18 時上映開始

英国ロイヤル・バレエ団公演。全編お馴染みの名曲に乗せてクリスマスらしいひと時をご一緒に。なお、当日の幕間の休憩時間は忘年会を兼ねたいと思います。

1 月以降、「ボエーム」、「マノン・レスコー」、「セヴィリヤの理髪師」、「ドン・ジョバンニ」、「トゥーランドット」などを予定。

あらすじ

【時と場所】

未開時代のセイロン島の浜辺の村

【主要人物】

レイラ (ソプラノ)	尼僧
ナディール (テノール)	真珠採りの漁師
ズルガ (バリトン)	ナディールの旧友、真珠採りの頭領
ヌラバット (バス)	バラモン教の高僧

【第1幕】

真珠採りの頭領ズルガと、彼の旧友ナディールは、かつてレイラという美しい女性を争った仲。再会した二人は過去を忘れて永遠の友情を誓い二重唱「**聖なる神殿の奥深く**」を歌う。そこへ真珠採りたちの安全を願うために遣わされた尼僧を乗せた船が到着する。

ズルガは尼僧に、純潔と信仰の誓いを立てさせるが、その尼僧が他ならぬレイラであることに気づいてナディールは大いに驚きロマンス「**耳に残るは君の歌声**」を歌って悩む。レイラもナディールに気づき、祈りの最中に彼の呼びかけに答えてしまう。

【第2幕】

レイラはヌラバットの命令により、崖の上の寺院に籠もっている。彼女は仲間たちに昔逃亡者の命を助けて、そのお礼に首飾りをもらった話を語る。レイラを諦めきれないナディールが寺院に忍び込んできて、2人はお互いの心を確認めあい二重唱「(ナディール) レイラ! レイラ!、(レイラ) 神よ彼がここに!」を歌う。一緒に逃げようと訴えるナディールの言葉を一旦は拒絶したレイラだったが、断りきれずに次の夜に落ち合う約束をする。

ところが、ナディールは寺院の見張りに捕まってしまった。それを知ったズルガはナディールを助けようとするが、彼が逃がそうとした尼僧がレイラだったことを初めて知り、嫉妬に苛まれて2人に死を宣告する。

【第3幕】

ズルガが旧友とレイラに死刑を宣告してしまったことを後悔していると、そのレイラ自身がナディールの助命嘆願にやってくる。ズルガはレイラに愛を告白するが、彼女の心は変わらずナディールのもとにある。

処刑の時間が近づき、レイラは母への形見としてあの首飾りを届けて欲しいと頼む。その首飾りはかつて自分を救ってくれた娘にズルガが渡した首飾りであることに気づき、2人を助けようと決心する。

処刑場にレイラとナディールが引き立てられてくる。ズルガは村に火を放ち、その騒ぎの隙を見て2人を逃がし、レイラへの愛をあきらめる。

Andante $\downarrow = 56$ Georges Bizet

Strings *rall.*

Je crois _____ entendre en - co - - - re, ca -

a tempo

ché _____ sous les pal - miers _____ Sa voix _____ tendre et so -

no - - re Comme un chant _____ de ra - miers _____ O

ナディールのアリア「耳に残るは君の歌声」の冒頭(原曲は八長調)

補足と余談

指揮者マルチェッロ・ヴィオッティ

イタリア系スイス人。フェニーチェ歌劇場などヨーロッパの多くの歌劇場で音楽監督を務めた。本公演の翌年 2005 年リハーサル中に脳卒中で倒れ 51 歳で死去。ネトレプコのデビューで話題になったザルツブルク音楽祭 2005 の「椿姫」を振ることになっていた。有名なジョヴァンニ・バッティスタ・ヴィオッティの末裔である。

G. B. ヴィオッティ(1755 - 1824)

モーツァルトと同年代のイタリア生まれのヴァイオリン奏者、作曲家で 19 世紀のフランス・ヴァイオリン楽派創設の父。弓製作者フランソワ・トゥルテに助言してそれまでのバロック弓から現代弓を開発したことで有名。ヴィオッティのヴァイオリン協奏曲の内、第 22 番および第 23 番は上級ヴァイオリン学生が学ぶ曲である。



M. ヴィオッティ



G. B. ヴィオッティ



上:バロック弓 下:現代弓

出演者

出演者はいずれもヨーロッパ主要歌劇場を舞台に活躍している。

アニック・マシス (レイラ、ソプラノ)

1958 年生まれフランスのソプラノ歌手。パリのプーランク音楽院に入る前は学校の教師をしていた。本公演時は 46 歳。2011 年にはウィーン国立歌劇場で「ランメルモールのルチア」のタイトルロールで出演している。



アニック・マシス

中島康晴 (ナディール、テノール)

1976 年生まれ。2000 年、東京芸大卒業後イタリアに留学。26 歳の若さでスカラ座のヴェルディ「オベルト」で主役デビュー。現在ミラノ在住。本公演時は 28 歳。本公演の翌年同劇場来日公演で凱旋を果たした。



左:中島康晴 右:ルカ・グラッシ

ルカ・グラッシ (ズルガ、バリトン)

サンマリノ生まれで工学部を卒業後、ボローニャで音楽教育を受ける。本公演のズルガ役で成功して国際的なキャリアを開く。

ルイージ・デ・ドナート(ヌラバッド、バス)

1975 年イタリア生まれ。幅広い役を歌い、ザルツブルク音楽祭にはバロック音楽で出演している。



ドナート

劇場名になった伝説の歌姫マリブラン

マリア・マリブランはフランス生まれのスペイン人。美貌と強烈な個性とドラマティックな生き様で 19 世紀のもっとも有名なオペラ歌手の一人。落馬事故の怪我のため 28 歳で夭折した伝説的な人物。マリアの生涯を描いた映画がいくつか作られた。2007 年にはメゾソプラノ歌手チェチーリア・バルトリがマリア・マリブランに捧げたアルバム「マリア」をリリースして話題になった。



マリア・マリブラン

アレッサンドロ・スカルラッティ(1660 - 1725)

バロック後期イタリアのオペラ作曲家。オペラ史上で重要なナポリ楽派の始祖。歌劇「愛の誠」の中のアリア「陽はすでにガンジス川から」および歌劇「ピロとデメトリオ」の中のアリア「すみれ」はイタリア・バロック歌曲の名曲として今でもよく歌われている。なお、息子のドメニコ・スカルラッティはバッハ、ヘンデルと同年生まれ、マドリッド宮廷で多くの鍵盤楽器用ソナタを作曲した重要な作曲家である。



A. スカルラッティ

「オペラ対訳プロジェクト」の台本から

ナディールとズルガの二重唱「聖なる神殿の奥深く」 (N:ナディール Z:ズルガ)

N 聖なる神殿の一番奥
花と黄金で飾られたところ
ひとりの乙女が現れる！
私にはまだ彼女が見えるようだ！

Z ひとりの乙女が現れる！
俺にはまだ彼女が見えるようだ！

N ひれ伏す群衆は
彼女を見て驚く
そして小声でつぶやくのだ
見ろ あれは女神だ！
影の中に立っているぞ
両手をわれらに向かって広げて！

Z 彼女のベールが持ち上がる！
おお幻影よ！おお夢よ！
群衆はひざまずく！

N,Z そうだ あの人だ！
この世で最も魅力的で美しい女神なのだ！
そうだ あの人だ！
われらのうちに降り来た女神だ！
彼女のベールが持ち上がり 群衆はひざまずく！
だが 群衆の間を

N 彼女はかき分けて進む！
すでに長いベールが
Z 彼女の顔を隠している！
私の目は ああ！
N 空しく追うばかり！
彼女は去って行く！
Z 彼女は去って行く！
N だが突然 この魂に
何とも不思議な情熱が燃え上がったのだ！
新たな炎が俺を焼き尽くしたのだ！
Z 君の手が私の手を押しのける！
N お前の手が俺の手を押しのける！
Z われらの心を愛が奪い取り
N われらを互いに敵に変えた！
いや もう何も俺たちを分かち合えない！
いや 何もない！
N 友であり続けると誓おう！
N,Z おお 友であり続けると誓おう！
そうだ 彼女なのだ！彼女は女神だ！
この日 われらを結び付けてくれた
そして、わが約束に忠実に
兄弟として お前を大切にしたい！
彼女なのだ 彼女は女神だ
この日 われらを結び付けてくれた！
そうだ 同じ運命を分かち合い
死ぬまで仲間であり続けよう！

ナディールのロマンス「耳に残るは君の歌声」

私は感じている また聞こえるように
椰子の木陰に隠れて
彼女のやさしい 良く響く声が
まるで鳩が歌っているようだ！
おお魅惑の夜よ！
聖なる歓喜よ！
おお懐かしい思い出よ！
酔いしれる狂気よ！甘い夢よ！

星明りの中に
私は感じる まだ彼女が見えるように
その長いベールをなびかせている姿を
暖かい夜の風の中で！
おお魅惑の夜よ！
聖なる歓喜よ！
おお懐かしい思い出よ！
酔いしれる狂気よ！甘い夢よ！